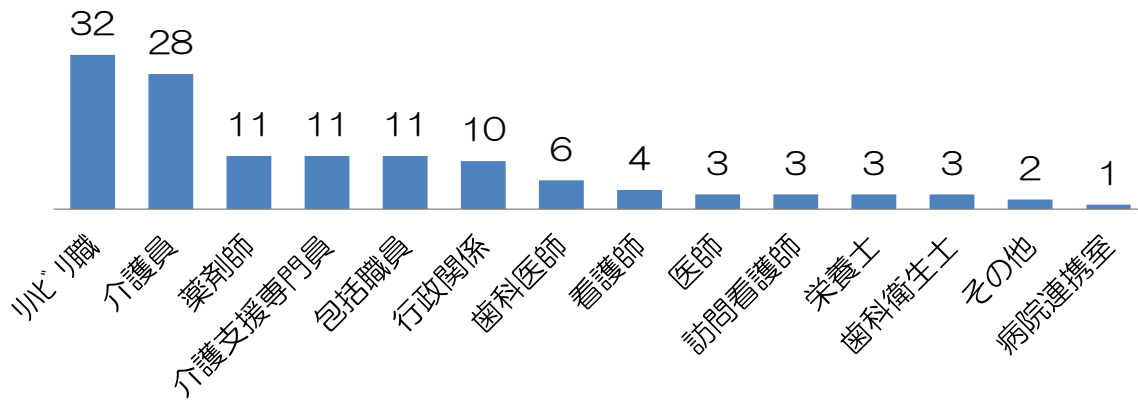


# 第6回「在宅医療サークル」

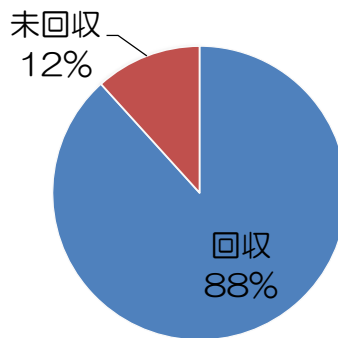
平成28年11月7日開催

参加者：128名

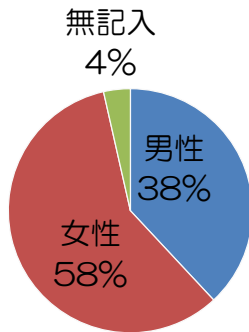


## 回収率

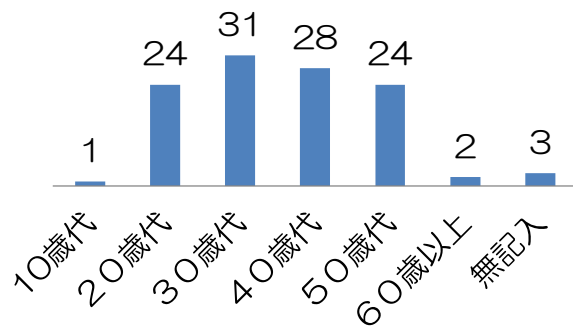
回収 113 枚  
未回収 15 枚



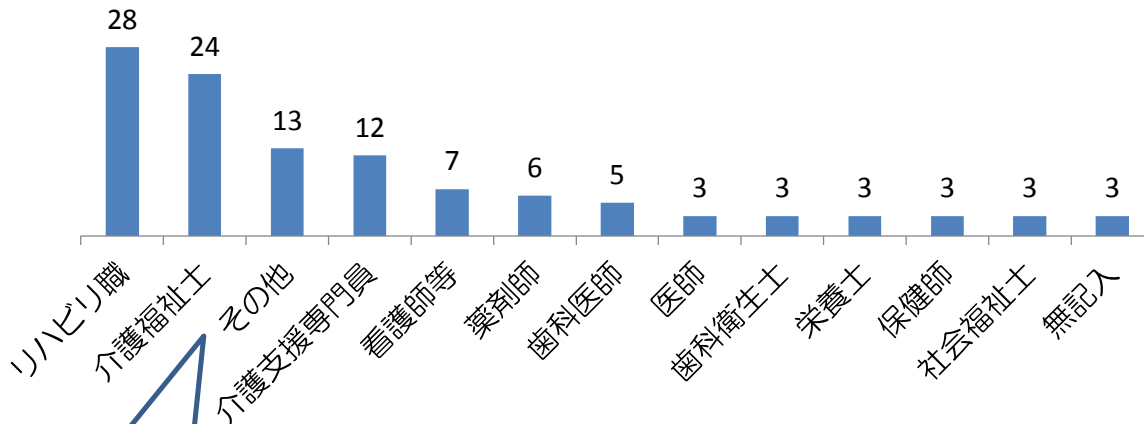
### 1、性別



### 2、年代

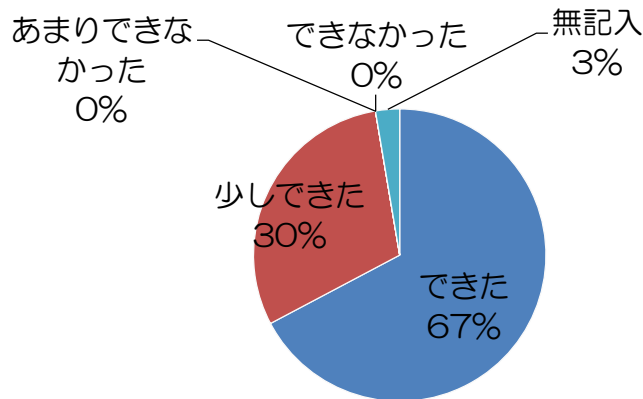


### 3、職種：現座従事している主となる職種



その他  
介護職・行政

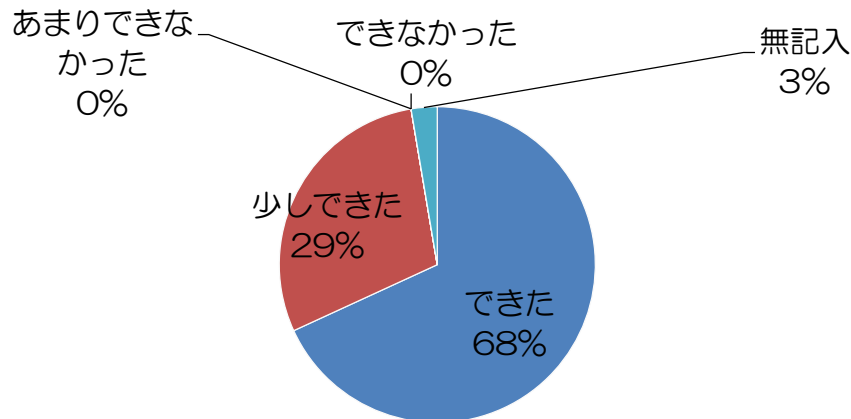
#### 4、「理学療法士」の役割について理解できましたか。



理解できた、またはできなかった内容をご記入ください。

- ① 訪問リハビリの内容や着眼点がよくわかりました。  
在宅でのリハビリ内容を詳しく知れてよかったです。
- ② 同じリハビリでもここにあわせたやりかたでリハビリを行っていることを知った。身体的なリハビリだけだと思っていたが心（メンタルケア）的なサポートもやられているだなと思いました。
- 3 リハビリを開始するまでの流れ。
- 4 身体や心のケア
- 5 退院後はADL(日常生活動作)が低下しやすいと言われますが訪問リハビリはその人の生活に密着した視点からのアプローチが出来ている点が素晴らしい。
- 6 終末期リハビリ（訪問リハ・末期癌）のリハビリについてもう少し話を聞きたかった。
- 7 それぞれのリハビリテーションの目的がよくわかりました。
- 8 実際のリハビリの写真がありわかりやすかった。
- 9 日常生活で行う動作の専門家。
- 10 訪問リハビリで実際の実生活でのリハビリ状況がどのようにされているのかよく理解できた。
- 11 職種の定義や根拠などが分かりました。
- 12 日常生活の基本動作の改善を行う。
- 13 終末期のリハビリとはどういうものか興味があります。  
次回終末期のリハビリについて話をしたいです。
- ⑭ 訪問リハへの介入や考え方が理解できた。
- 15 日常生活の中に介入し、対象者に合った課題を見つけられている。
- 16 社会復帰するために根気よくやらなければならない。本人のやる気が大切だと感じ
- ⑰ 医療保険、介護保険制度など理解できた。
- 18 理学療法士がメンタルケア？少し驚きですが新鮮で感動しました。  
在宅でも継続できる運動などはどのようにしたらいいですか？
- 19 理学療法士の実際に仕事している内容についてよくしることができました。
- 20 とりとめなくだったが事例がよかった。

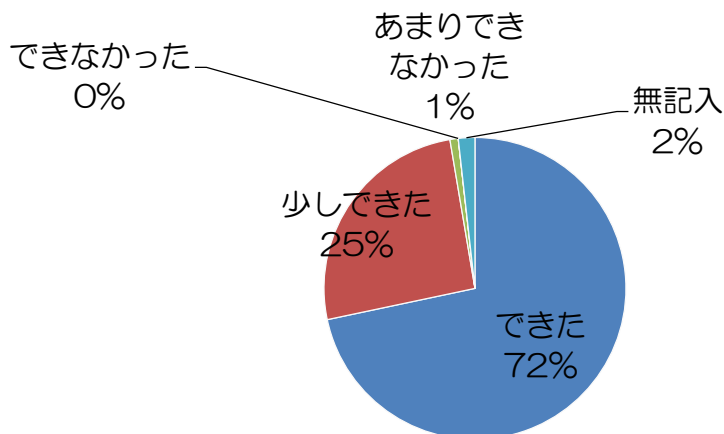
## 5 「作業療法士」の役割について理解できましたか



理解できた、またはできなかった内容をご記入ください。

- 1 とてもわかりやすかったです。作業療法士の訪問リハビリの効果がとてもわかりました。
- ② 作業療法士と理学療法士の大きな違いを理解することができました。作業と認知の一致をさせるカードの訓練などは初めてみる事の出来たものでした。
- 3 実際、理学療法士と作業療法士の違いがあまりわからなかったんですが、今回お話を聞いて生活していくうえで大切な事すべてに関わってくるんだと分かりました。
- 4 目標。
- 5 社会復帰、社会の受け入れ（仕事の復帰）に問題はないか？
- 6 作業療法の対象で「心に障害を持つ人」という事も理解しました。生活行為の波及効果の所はあらためて「なるほど」という感想を持ちました。
- 7 自助具の箸は見たことあるが、自助具がたくさん種類がある事が分かった。
- 8 日頃当たり前に行っている作業（生活）を再構築して「その人らしさ」を支援する事を目的としている。
- 9 作業療法士の役割はいまいち理解できなく、今回の研修でよく理解できた。
- 10 職種の定義や根拠などが分かりました。
- ⑪ 「作業」は全ての活動という日常生活の動作。
- 12 作業療法士の幅広い仕事内容がとてもよく理解が出来ました。作業療法士がケアマネであれば質の高いケアが出来るのではないかと思います。自分の家族はどういうケアさんに担当してもらいたいです。
- 13 理学療法士と作業療法士の違いが少しわかりました。その人らしさを支援するという事で、リハスタッフに対して患者さんが心を開かれている理由もわかった気がします。
- 14 今回詳しく流れをお話して頂き、作業療法の奥深さが分かりました。
- 15 作業療法の考え方や地域への介入等分かった。
- 16 その人らしい生活を送ることが出来るよう職場復帰のためにもその方に合わせたプログラムを実施していることを知りました（畑など）。
- ⑬ 病院内だけでの治療、指導、援助だと思っていましたが、対象者の生活まで入り取り組まれていることを知った。
- 18 理学療法士と作業療法士の違い。
- 19 たくさんの作業療法があるのでびっくりした。
- 20 ケアマネもわかりやすかったです。
- 21 住宅改修等特に具体的な指示、cm単位、形状など適切な指示があれば助かります。
- 22 作業療法士の仕事内容や目的などよく知ることができました。
- 23 ゆっくりと話したいだけ理解しやすかった。

## 6、「言語聴覚士」の役割について理解できましたか。



理解できた、またはできなかつた内容をご記入ください。

- ① 言語聴覚士の仕事業務内容はどういったものかを知る機会がなかつたのでそのことを勉強できて良かった。
- 2 嚥下困難でのアプローチの方面の仕事しか理解がなかつたのでその他の仕事内容を知れてよかったです。
- 3 リハビリ内容。
- 4 失語症の方へのトレーニング内容
- 5 仕事内容は幅広い。
- 6 カードを使ったリハビリがあり言葉も勉強でき、物が覚えやすいと思った。
- 7 話す、聞く、食べるのスペシャリスト。
- 8 動画を使用していた為分かりやすくすごく理解できた。
- ⑨ ムービーを使った形式は非常にわかりやすかつた。
- 10 職種の定義や根拠などが分かりました。
- 11 話す、聞く等言葉によるコミュニケーションが取れる様に支援する。
- 12 栄養士は飲み込みの評価が出来ないので、食事をとる上で一番かかわりが深い言語聴覚士と在宅で連携していけるとご自宅での飲み込みに困っている方の食事がもっと充実するのではないかと思います。
- 13 仕事内容や考え方が理解できた。
- ④ 飲み込みの障害も対象になっている事。小児だけのことだと思つてが、小児から高齢者まで幅広くされている事。
- ⑮ 動画があり理解しやすかつた。
- 16 話すこと以外に飲み込みについても言語聴覚士が関わっている事は初めて知つた。
- 17 映像はわかりやすく、個室でするイメージなので良かった。
- 18 個々に応じた対応や姿勢等勉強になりました。言語聴覚士の方ともっと関わる機会が持てたらいいなと思つました。
- 19 一部ではありますが、実際の訓練など見る事ができてよかつた。
- 20 動画があつて良かった。

- 7、「在宅医療サークル」へ参加しての感想やご意見、また今後「在宅医療サークル」で希望されることなど自由にご記入ください。
- 1 具体的な取り組みや自分たちの職場で実践できる物（アドバイス等）の紹介があればいいかなと思いました。
  - ② 在宅医療に関しての多種の職業のアプローチ法が詳しく知ることだ出来良かったです。
  - 3 ありがとうございました。
  - 4 今回の研修内容は興味深い内容でした。
  - 5 おかげさまでいい勉強が出来ました。
  - ⑥ 色々な職種の方の実例を聞くことによって在宅医療には何が必要か参考となります
  - 7 リハビリ職以外の多職種の事について。
  - 8 とても勉強になりました。利用様の役割目標を見出し、その人らしい日常生活が送れるよう、サポートできればと思いました。
  - 9 他の職種の話が聞けて興味深かったです。
  - 10 知らない事が多く、いろいろなりハビリがあるという事が分かりました。
  - 11 在宅生活を送られる中で最近特に高齢者の方の糖尿病、透析治療の対象者が増加しています。食事、生活、予後等特に大変な事が多く具体的な支援、注意点を教えてほしいです。
  - 12 総合事業について。
  - 13 PT、OT、STの具体的な役割がよくわかった。ありがとうございました。栄養士としてはSTとの連携が必要になってくるし、筋力維持や自立を考えると3職種との係わりが必要だと思います。
  - 14 とても良い勉強をさせていただきました。ありがとうございました。
  - 15 1名20分では少し時間が短かった。
  - ⑬ 座長の話良かったです。
  - 17 改めて自分たちが行っている仕事の大切さを実感でき、明日からはもう一度自分たちの仕事について考えながら利用者さんのために関わって行きたいと思いました。
  - 18 高柳先生の制度的説明の資料があればわかりやすかったと思いますが、やや難しく感じました。
  - 19 懇談会
  - 20 毎回参考になります。ありがとうございます。
  - 21 三職種の方の業務はなんとなく理解していたつもりでしたが、より日々どんな仕事をされているのかわかりました。STは嚥下などのどの事ばかりかと思っていました。耳も専門なんですね。知れてよかったです。名刺交換は終了後に行ってはいかがですか？